

思いを出し合い、とことん話し合おう

元旦に能登半島を震度7の地震が襲いました。亡くなられた方に哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。

去年は、延々と続く紛争で多くの命が失われました。温暖化の影響で、地球の命も危ぶまれています。

組合の組織率も低下の一途を辿っていますが…ここらで気持ちを切り替えて、組合活動、地協活動をブラッシュアップしたいと思っています。

4年ぶりのバスハイク

(京都北都従組)

京都北都信金従業員組合では、11月3日(祝)に4年ぶりとなるバスハイクを行い、大阪のUSJへバス3台、組合員・家族合わせて118名が参加しました。

当日は好天に恵まれ、暑いぐらいの気候のもと、思い思いのアトラクションを回りながらナイトパレードの時間まで家族や同僚と楽しい一日を過ごしました。



参加者からは「来年も参加し、今回混雑して入れなかったアトラクションには是非行きたい」などの感想が寄せられました。

今後も行事を順次復活させながら、多くの組合員の組合活動への参加につなげていきたいと考えています。

さわやか従組の仲間も激励に

京都北都従組第21回定期大会

京都北都信金従業員組合では、12月2日(土)に京丹後市内のホテルで定期大会を開催しました。

白波瀬委員長が開会のあいさつで、「新型コロナが落ちつきつつあり、組合行事も復活させたが、反面、若手の組合加入が芳しくなく底上げが必要であり、先輩組



現役は流行りのZ世代を含め、様々な世代が混在しています。職場でもよく言われていますが、「何考えてるんかわからへん…」

ではなく、お互いに思いを出し合い「へーそうなんや!」となるまで話し合っ、組合活動、地協の活性化に繋がっていきたくと思っています。他地協の現役の方々も含め、皆さまご協力を!元氣な年にしていきましょう! (近畿地協議長 岡野展子)



(大会後の懇親会には家族も参加して)

合員からの積極的な声掛けをお願いしたい。今回多少とも臨給が上がったのは、組合員の声が反映された成果でもあり、もっともっと組織を活性化させよう。パワハラ事案などもあれば、組合が解決した実績もあり、遠慮なく申し出てほしい」などの挨拶がありました。

続いて来賓の金融労連中島委員長、近畿地協岡野議長、さわやか信金従組(東京)の倉澤委員長からも激励の言葉をいただきました。

各議案も承認され、新役員、執行委員が選出され、総会は閉会。その後、ホテルのランチバイキングに舌鼓を打ちながら4年ぶりに組合員の懇親会を開催。

仲間同士で日頃の情報交換などを行いました。中には子供連れで参加した女性組合員もあり、元氣な子供達が会場の雰囲気を一層盛り上げました。

最後は参加者にクリスマスケーキが配られ、懇親会も成功裡に幕を閉じました。

新四役は次の通りです。(敬称略)

委員長: 白波瀬 隆人

副委員長: 糸井 孝志、中野 秀基、橋本 克弘、石東 大輔

書記長: 坪倉 大輔

書記次長: 後守 勝幸、野村 大樹、島田 博司、中村 純弥、小林 史弥

★ ★ ★

組合本来の姿を示す1年に

金融ユニオン近畿支部大会に 11 名

金融ユニオン近畿支部は12月23日、第15回定期大会を昨年に続いてリモート形式で開催し、委任状含め11名が参加しました。

議案提案後、近況報告も兼ねて行われた討論では、**店舗統廃合で弱者悲鳴**

「大阪でも買い物ができない地域が増えてきている。特に高齢者が大型スーパーの進出で個人商店、地域の中小スーパーが潰れ、今度はその大型スーパーが撤退して結局、地域の利用者が買い物ができなくなっている状況が生まれている。信用金庫とか銀行も、店舗を構えるということは地域を支える責任も同時に発生するというのもう一度経営者に知らしめていくことが必要」

70歳までの雇用確保は？

「60歳過ぎたら仕事が見つからない。見つかったとしても賃金は最低賃金水準。物価高ともあいまって生活実感はギリギリ」

労働組合の出番が

「ビッグモーターや宝塚歌劇団のように無茶な働き方をさせられても声を出せない労働者がまだまだ多い。なんとかできるのは労働組合しかない」

「理不尽なことに声を上げたら自分が生活的にひどい状況になる。それを何とかしてあげられるのが労働組合だと思う。個人がひとりではできないことを組合に入って強い力を得て行うという組合の本来の姿を忘れずにやっぺいこう」

さまざま経営者と絶賛された利用者アンケート

「京都北都信金分会の大会に参加して、今の情勢の中で経営者もどうしていいかわかっていないのだろうと感じた。そういう中で、私たちの原点は利用者と労働者だ。この人たちが生き残れてこそ企業も生き残れるんだということを、同分会が取り組んだアンケートで確信した。これを広げ、発展させていくのが労働組合の役割だと強く思う」

「京都北都分会で取り組んだアンケートの理念は素晴らしいものだと思う。行政のアメとムチの政策に惑わされることなく120年の歴史を持つ京都北都信金が地域の中小企業や住民など顧客の声に応えるべく継続することを願う」

平和の発信を

「定期大会とか中央委員会などで、平和の問題が全く出ないのが残念。仕事ができ、労働組合運動ができるのは平和であるからだ。地元の歴史や戦争体験を見聞きし、戦争のキナ臭い今こそ発信していきたい」

若い人の参加について

「賃金が上がるのも、長時間労働がなくなってきたの

も、自由に休暇が取れるのも経営者のおかげだと思っている若い人が増えている。そうではなく年越し派遣村の時のように労働組合の本当の姿を広く見せていけるように精一杯大きな声と旗を上げて頑張ろう」

「組合の先輩たちを見ていると全部ポジティブで解決するかというそういうわけではないが、やっぱり『心文字』って重要だと思う」

「ホームページを用意しても、会社でパワハラとか不当な扱いなどが無い限り、普通ネットで検索とかしないと思う。春闘とかニュースで見たりとかするけど自分とは縁遠いものだと思ったり、組合に入っているけれど、組合費だけ取られてるとか、そういう感覚が大半だと思う。まずは知ってもらうということを、粘り強くやっていく、難しい局面だが頑張る」等々、ともすれば重たい課題になりがちな組織問題についても次から次へと発言が続きました。

代議員から3月と4月に毎年行っている近畿財務局要請に24春闘でも中小業者の団体などとも一緒になって取り組みたいとの提起がなされ、積極的に参加していくことを確認しました

全議案が満場一致で採択され、現役員全員の再任が承認され大会を終了しました。

新役員は次の通り(敬称略)

支部長 辻 昇三(直属分会)
副支部長 松島 照男(大阪分会)
書記長 寺井 康人(大阪分会)

近畿地協 HP を見てね

ホームページの近畿地協定期大会の写真の横に「汚染水」か「処理水」か？に関する専門家のお話をアップしました。そこには恐るべき真実が隠されていることがわかりますので(事務局)

近畿のなかま時事川柳

- 裏金が バレているのに まだクリパー
(安倍派の元事務総長)
- 万博の 巨額費用に 沈む大阪
(維新市政・府政のなれの果て)
- 敬老パス 値上げしてでも ゴルフ場
(京都市長選)
- マヨネーズ 埋め立てしても マヨネーズ
(沖縄辺野古基地)
- 松本の 「醜聞」 庇い ヤブへびに
(吉本興業)

⇒皆さんからの投稿をお待ちしてます！

